

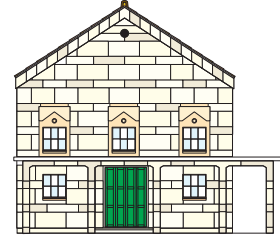
Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2017-11-15

APM news 181

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

長岡まちなかミュージアム2017 9月1日(金)

「一輪挿しプロジェクト長岡/まちなかでスタート」



時代が変わるごとに、街に住む人々や街のあり方も大きく変化してくる。人々の心は私たちが生活し続けた場所に対して、大切に誇りをもって生きることが常である。しかし、人々が疲弊したり生活しづらい場所と思い始めると、その場は徐々にほころびを見せてくる。だから、人々はいつも共に生活する人を互いに信頼し、支え合わなければならない。この一輪挿しプロジェクトは、まちなかの一輪挿しに一本の花や植物を飾ることによって、互いに喜び合い、美しさを共有する隣り合うコミュニケーションを作り上げることを目的とする。その場は、小さな芸術的心を生み出し、会話が生まれ、そして文学や芸術的な表現も育まれてくる。例えば、その一輪の花を眺めながら、その感じた心から俳句、川柳、和歌、あるいは一片の詩が生まれ、また日本の自然観を見ることが出来る。その楽しみ世界によって、街に美的空間や芸術的心が現れ出ることを楽しみにしている。

秋山孝 (多摩美術大学教授、秋山孝ポスター美術館長岡・館長) 2017年8月7日

「一輪挿しプロジェクト長岡」は、2017年9月1日(金)～7日(木)に長岡駅前にあるシティホールプラザ・アール・オーレ長岡をメイン会場に開催した「長岡まちなかミュージアム2017～秋山孝のメッセージ～」を機に秋山孝館長が立ち上げたプロジェクトである。各家の玄関先に一輪挿しを設置し、そこに一本の花や植物を飾ることで、市民同士のコミュニケーションを生み、美的感覚や芸術的な意識が高まることによる街づくりを目指している。プロジェクトのスタートは、「長岡まちなかミュージアム2017」に合わせて長岡市商店街連合会の協力のもと、長岡駅前のメインストリート・大手通り、すずらん通り、セントラル通りの主要商店街アーケードの柱に瓶を設置し、そこにガーベラの花を飾って展示の4会場を結んだ。鮮やかな花が並ぶ様は壮観であり、道行く人々の視線を奪っていた。一輪挿しは、イベントの主催者であるNPO法人ながおか未来創造ネットワークのスタッフが全て用意・管理したが、ゆくゆくは市民が自発的に管理をし、それぞれオリジナルの一輪挿しが並ぶことが理想の形である。すると、人々には一輪挿しを設置する柱や道の汚れにも気がつき掃除をしようという意識がきつと生まれてくる。また、一輪挿しを介して隣人や通行人とのコミュニケーションが生まれるであろう。そんな良い連鎖が、美しい街づくり、街を大切に誇りに思う気持ちを育み、暮らしを豊かにするはずだ。もちろん、秋山孝ポスター美術館長岡の2つの施設でも一輪挿しプロジェクトは遂行している。このプロジェクトはまだ始まったばかりである。定着するには根気強さと時間を要するであろう。しかし、このプロジェクトが市民に浸透し、長岡駅前商店街から周辺地域に派生していき、一輪挿しで繋がる美しい街が生まれることを切に願っている。(たかだみつみ・APM事務局長、学芸員)